ストミンスター寺院で行に関係派の一と調はれるウェ(東京進路)十二日大英市

動は無化路頭師、エリザベ 鉄文宮殿下に御託しあらせ

の世紀何勢に鑑み領國より

降下の御内窓として一最近

特別議會以前に

内閣の倒壊を期す

れジョージ六世降下に次

冠の御儀に際し、天皇皇后 解除下には細胞電を離せ れるジョージ六世麾下の戦

> のジョージ五世降下の滅社 ス島后陛下に動一等的冠章

たためである、豪華を極め

御祝電御發送

も開発化を印成法し続いる

天皇唯下には

は一斉に國歌「ゴッド

麗莊嚴の極致を行く

北鮮の視祭へ

製冠式御盛儀その儘の豫行演習(示順語闡經計算)

英國皇帝戴冠の御儀

愈よけふ執り行はる

外いで揺光の細長いスウベルチェカ、これは英蘭、スコツトランド、愛蘭を染顔してピソクの薔薇、栗の薊、ゲリーンのクローヴアエドワーF即位の餃子より立ちウエストミンスター質長の助けで次々と聽想を落われる、純潔さガーメント、コロピウム・シンドニ 型する遠南の儀が終れば次いで愈よ「地上の王者」として鄭冠の御儀に入る、帝蔵、形故の極致を行くもので先づ皇帝は御底セント **練取つた金色優だる確服である、それから番嬢の修に入る、皇帝はカンタベリー大街正の崇げる野親を受けられるが、これは関軍の** 長を原徴するものである、大修正は

測書すると野劇は一旦発展に聞き自シリングの動質を以て『順子』な後深端より卸し、式部投稿「グレート・テエムパレン)が演得 『此の劇を以て正義を行ひ不能不正を謝し縛の敬管を保護し、劉慈進場を確認し祭れたるものを恢興し恢興せるものを維持し、『此の劇を以て正義を行ひ不能不正を謝し縛の敬管を保護し、劉慈進場を確認し祭れたるものを被興し恢興せるものを維持し、

・ゼ・キング』を略和すれば、外ではハイド・パーク及びロンドン場から機能版をとして想き、 **製石指輪を捧げる。損輪は鼻笛と園民との「簡蛇」を診味するのだが、鬼笛はそれを右手の第四段眼である、これで着女式は終りみで驀頭点である、大側正は宇宙の釈飾響様(オープ)を、次で紅眼である。大側正は宇宙の釈飾響様(オープ)を、次で紅** 時太鼓と欄叭のファンファール厳かに場所に響いわたら、参別貴族が手にした各自の冠を撤せ を兩手に撇棒し『淵王慧を嚴かしめ緒か』云々と鳴べつ、那かに之を角曽の頭上に娘かせる、此のと、カンタベリー大催正はウエストミンスター賞長が発蝦より取り卸したセント・エドリード上述 鍵式の小屋れを聞くばかり、鼻前が二つの笏を持たれたま、セント・エドワードの帽子に単立 皇帝潜衣の御族は更に本格的に逃む、ウニストミンスター密長は滅心と興奮の象徴アーミル袍 段階載量の式に入る。正に厳酷の絶貨であり農き院内家として繋なく森として舞なく暗飲かに部場 **熱歌と子和の象徴である偏電筋(セプター・オヴ・ゼ・ドーヴ)を左手に持ち、これを以て破後の** めた後、最後の外後(ボール)を島帝の御府に頼いまるらせる、金線、金織目眩さばかりの楽館 に嵌められる、理に王権及び正義の強敵である十字第(セプター・オヴ・ゼ・クロス)を右手に

と宜し、緊張隊は鹿に『神の諸に依りて王道を進め』の瞿敢を唱へる、置いて聖書に基言製造のは終あり、墓俗は大僧に、僧に、置修 王英國に置く、大館正は進んで **|接けられて『王座』に即かせられる、これで登極の御儀は繰り、大修正、皇族"貴族の順で参列"結員は御前にひざまづき臣邳を浚子** 写典は豪光と正義の冠を載かしめ給(り、礁圏たる信仰と語多の進行を以て永久に此の王固を読冶せられた。

・・アベイに於ける一切の武が終発するのである。 野産式 野産式行はれ、脳炎に肚がに息寒式あり、之を以てウエストツ』を齊唱、終つて今度はエリザベス県后の強曲式、繋延式、野産式行はれ、脳炎に肚がに息寒式あり、之を以てウエスト 新くて衛武儒りなく行はれ盗に皇帝の藏述式は終り、即び太皷、喇叭のファンッアールの郷に『ゴッド・セーヴ・ゼ・キング・ワ

道會議員の當選者 八色で塗つぶす

の間に猛烈な選撃職があつて、二一 八十一名か記述したが、本府保 並を解放の選幣は十日一番に「僅かにパ十六名どない」に他するものである。なほを記は 最終で除る者上百州名一龍南分野は発ど新人色で短りつ ぶされた器である、領導者の内、

な僅か六

一十六名は新人で在与人は「人が在各場加してあることは活見しかると、當場著の内一百」すると内地人が五名域がし、朝鮮いある・、 「日午前十二時の調査に「十五名であるが前回の選挙に出版 十五名であるが財団の選称に比較し、来る十七日起りの一名を選挙の内地人は州七名、朝鮮人は二百四一九日親越して選駆不能となつたの すると四地人が五名成少し、朝鮮 議法加は左の如し

き態品によるものであり 郡温和面本事務所が選挙の前日の 一百八十二名であるが、生理階級

歴戦一新の實を罪げるとになつた面職説の優遇と諸貴の改善を行ひ 局では各道と協力、車務能率の刷 の測点、指示の方針に関り、内筋に知事意識の脳上行はれた開報行 新をはかるため酸然たる態度で自 大七聚 金 重 現行 片七聚 金 重 現行

申元 照5

洪城郡(同二)

どこまで行っても平行線も中

電化に决定

書館改工総定山、古屋山田の医院」が、「野院」十五日田により会で書いためる。 に致めてゐるを山地を開発に作ぶ、決定、目下破死調査を急いためる (報報)等記を決し、者を帰記作道、眩し江豚は同時に開催することに 研究調査を急ぐ

鑑正おいて夫々正式に繁盛。革新政策を實行し思べき革新戦撃。の目観達成を闘らため一器選進于一代は七日、戦が離は十一日の。これに代つて時観意服のため異に、を同じらする國政大衆と共に所知。常語:林内駅の勇気に願し、を決定、併せて取内閣訂例の上は、国一党内閣の實現を抱すべく、志

意氣込む政民兩黨



支局移轉 田 本社大阪 社

邑面職員の指導さ 品位の向上を圖る 官民和合の實も擧ぐ

は既任。山水泉道園薫館に改一へき記憶き申合せるなす所あった| **公部の影響製成 繋の其遺俗をはかるべき局面に立 (艦し、縦上側駆に駆する現間蘇射明明朝館の選談) よってその第一番手として隊民連 (弾に南影響或の倉間大器観響を閉** 会せの上、添騰さらにおいては引 吹起し是非独微師論問目に取り閣との上、添騰さらにおいては引 吹起し是非独微師論問目に取り閣との出版を形すべく 急速込んである 所の松野南幹事長は一個日中に打一覧に共同職線を殴り國民の影覧を 到った、即も民職堂の小泉、職な<mark>関は共同供議を行び、進んで全國</mark>

道議當選者 十二日午後二時現在

おかまだ多くなつで行く傾向があれ、更良としての最優を作ったる

更良としての威信を仰つける 線に任る自面観賞の中に消費

つので、本所内務局では南部省の だて、吾道知事に對し、西面販 前主音をもらに徹底させる意味

情似等の非行に因り刑事を供に同

展人の中特に民衆との接觸線の

大馬三)図 勉 植38 忠清南

向上を調り、官民和合の質を照げ

鏡

し、之害職員の関神情等と品位の

員の指導に腕する機械的指示を超

るととなった。さらに先続開かれ

天地玄黄

めて、現内間の退却を要求しと

そして林内閣は企志殿の宮臓一「吉配へ、ようがする前の軽算に

呼びかけて、

であつては、スポーツへの 選手といふ 順は同時に走りだした。 層太郎 町の軽昇が悪じた。 を遂げる際である、更に適富の機 | は三千萬原に遂する見込である

内務局が知事に指示

◆ 商木第三十九派函長 十一日照京へ ◆ 園積硫酸局長 十一日東京へ 十五日午前七時六分届城の害 時二十二分龍山戯大邱に向ひ、 中二十二分龍山戯大邱に向ひ、 吸をいれたところで聞いて見た。

後の概算がすぐ際にた。

を近へついた。『薬やがつたか、』

「何かあるのです

るない。

つきらか、偏本郎はすぐ没入の事

何たか態ですぜ、

◆本山文平氏(台麓製菓所社を長) 十四日平博・5入城伽町通へ ・一四日平博・5入城伽町通へ ・一四日平博・5入城伽町通へ 「米澤町でさあ、」 四時は十時であつた。帰太郎は

人、なるほど女の力は職からず一であつたが、金はある上知ももが一り聲をかけた。 スエーデンにもシンプソン夫 家か、歌煌の脳匪かへ励るつもり 浮きうきしてゐるし、そのまと版 もなかつたので、脚下水の自分の たが、宮時はもろ新微組とは交渉」追続で、共進は別と その時になって自分の往く先を考 何起までも新微組の指に見せるた へ出した。進入の家を出る時には めに、新飲組へやつてくれと云つ 見ると説。の野の用いた電概を 出 のあがり口に望結床があつて、認 軽は出げから歴にかくつた。 是

るのが気ばかしかつた。 ない、吉原へやつてくれい 『四時か、もうそんな時刻か、そ は吉配へお掘りになるのだぜい れおや新敬観へ独つてもしかたが、おろして往つでしまつた。無太郎 「おい、相郷、 旺那 たのを知らないのか、そのまゝ往 の三挺の喉は魔太郎の帳の停まつ しかつた。猟太郎は其違へ往くな ど記す必要になってゐて認でも設 してあったの共進をあがると提の 「おい、悪界、道識だらう、此違 つてしまつたか、 は贈い中に立つて待つてゐた。即 経界は開太郎の云ふままに戦を 此名へおろせい 近の語が接触な

「よし來た、よしはら、よくんの」と瞬引の四人であつた。獨太即は それは背防の都 脱いて前に進ん 既はした



上岳の如く総合されるとになった **野質局長権民俊一氏を起用する。** に年よ宵延島長後世は朝鮮語宵好 とに決定、十三日の限能に認つた 【東京電話】入江荒帯次覧の引 西崎課長有力專賣局長後任

(50)

一張も二郎もありさらな水戸浅人 愛を並べてあつた。郷太郎の後を主管あつかひにした上で、もよ つけてあた浪人の一行は、郷太郎の後を上きるかかいにした上で、もよ つけてあた浪人の一行は、郷太郎の後を もになってゐた。微聚劑のた金融|血液にしてるたので、 に較べて多いと云ふではないが、 つた。頭太郎は傍に主発・崩滅か一つて、魔太郎の軽を とは、病性このうへも、い事であって、初苦の前へ來る ■太郎は髪の中で脱る良い耳4· のまと派れるやうに る配店があつて、吉鵬へ行く客をしつた。留時その壁前に披着と云 扱へ十數挺の 執りこめるや なりそれにか 中生客がそ

月號

あたら、おいどんしものた。云つ一うにして往つたが、 の概を削へやり、後を四進の概で 河野通 勢郎 畫作 それには三進 大評判!傑作讀切小說 ▲ 職山の湯の少女…谷崎精二 ▲ 鰕旗本旋風陣…日黑麥男 ▲ 罐腹切り供養…平山蘆江



A

虚かあつて運行人も多かつた。 をやつて外を見た。外には明るい た。職太郎はその時襲の垂れへ手た。職は五兩の選手の繋びで走つ

郷太郎は一人で売んまりと笑つ | 往つた。

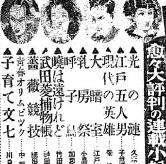
▲ 鑪 總州やくざ双六…左文字勇策

りたくなった。概算かもとつ、呼一下射に三雄、後に

粒選りのキング名記事面白いく、大評判!! 破6体驗談 島津源

日大一 大型を **日本人**はゐをい。 青木又雄 一年的女服 のあてヨッキの日 郷先敗 でに何を物かり、伊藤正雄の土産はなし、新野二郎 一般を多数のお井の 百合戰

人気男



久宗 正雄

賣切近し(五十歳) 事名小説満載!!大評判!! ◆子育て文七──Indakm 英人 中野寶 平田潭 電 加瑟武雄 江戸川胤歩 掘田 民福 上級 田湯 竹田 触着 小岛政二郎

に絡ど

總督以下大官ぞく 一鞭の乾盃めで

能を正し版を配置の前間をなし午 同共、湯料知事、甘粛京城府野、 機能が膨射祭を行い、午町十一時 |竹で在成英八七十條名書列の下に||改は同じく館内ホールで在成英国 多買、左のやうな観解を述べシャ 時間女、二宮殿長殿即有野、佐夜 年間語聞事、館事をはじめ川常せ / ** からフィップス銀貨事は誤損事館 やガーデンは白、赤、水白のコロ 町十一時四十五分開端可も軍服で 軍参照女」と日期申士が帰装に威 人の販かな希記夜館が脳され館内

興间の英國語館解解はひときは縁 風幅、正午がら開闢質を主戦に懺で駆行されるけふ十二日、京城府 シベンで配益・大藝治園の前途を

に映る年前九時半から真洞の聖公。事婦で観賞の午餐園が開かれた、 シャンペンの盃を擧げて、英國總領事館の受賀、活動 自即首

グ。クキン萬歳々の観辺に浦安るネーション色に飾りたてられ英國 昨下並にエリザベス皇后除下の本
十近に英四皇帝ジョージ
大世 東平度のロータリークラブ全國大 日開催地は京城に於けるロータリ 全國大會

年四月完成)に於て開催すること 在泰上來呼五月十三日京城遊這町 く温運動を行つてあたが、運動効 ークラブ開放者が京城に割引すべ 丁目の朝鮮ビル半島ホテル (水 意物とペルメル

に決定した、出版書は内地より三二

本の後極型で音楽をしてぬたが 比事が手につかず上目前に入 を良いの前貨に 堪へかれて十二 二日朝日日したものと判明、本 町浴ではなは領軍に都市を取制 で中

ロータリー

一日午前五時、ろ京城南大門市

來年は京城で を初め各地を検験、祖剛技を健康

氣に謂る 殿ずるため十二日朝輩山に上陸し 本社の招聘に歴じて半島県軍と劉 た、同角の監督が野金太郎氏は元 したアラメダ環ル一行

度では去る卅月夜十一時ごろ義 さ七途中野田の上六十個を屈頼要 てあげようと結約並六十回を作器 交復協当さんに長男の縁を問題し 盛頭を構造されてある 原道被据 拉四川面下东公里共經 義父から强奪 を合せると六百名に建する時

拂つたことを自供、なに所持して 羽を称み同木が町の李朝内屋に 九葉だ顔方の鶏小屋から深 れ住所不定金宝宝っとで御成り へた、右は静山射動光町一五八六 を奪成中の本町製成が一人を取り

ら踏んだもので到を抱いて あた劉六羽は南北。 河の内地人宅か

をした、十二月八子男へも手

四五二の一朴説師長

土等の数質(簡単細種に面別事カップは下三等)大事審査方法、目方質(個質問題に認識カップ、朝廷京語 り 午後七時五十五分京城驛着 人間勝者に脳爭カップ以下三等|富|寅(五個)

大物賞 宿

五十五分京城驛着

團體鮒釣競技

富日午前六時十分豆城驛

國體五名(但し三、四名でも参加可能、詳細は 人一園(申込は市内各魚釣兵店及び本社事業部へ)

五月十六日 (日曜日) 小雨决行 素砂(區域は本配指定・第つて紙上最多)

鷄を抱いて

習習場人り

七八歳位の朝鮮人汚生三名。日朝合著に復食方を願ひ出た18月ほごとう事と下う作司。て行方を晦ましたこと判明、

一本(夏頭自由)

一郎 () かります)

海郎教機件數六 落所當內二 京城國河一

二件の減少を示して売ら二件の減少を示しまに係りの骨

張切るアラメ

大元氣で釜山に上陸

は思ふやうた活動が出来なかった、一試合に十七人も四球でかかせる修めまだつたが、 愛回を 取破してから割子が出て、 要してあると共にその後の試合は来)、 先日 の八価型酸財政市上別中記さた。 の八価型酸財政市上別中記さた。 のでは不全体理と個か合きた かったが同単の技術と知り存て、

吹きも吹いたり 徳壽宮を賣る

ばしてある、とにかくハリキッ の試合ではホームラン二本も飛 の試合ではホームラン二本も飛 製器に加った、低所不定的

門、前に南北側の野を主波足城門、前に南北側の野を主波足城

京城武程司二〇四古材本店居科駿 | 検持した、取職べの結果右犯行を

込み十一日夜霧州辺り二の二三金 ましてみたのを傾断器が球隊が追

に観洛丽先した

自分の温を滑べらせ河山

巻むべき事像と云ふべきで

大相性复場所

放着き、関係の、選に流しむより、酸しつよ脂も異性の斑に散點さ

あつて解同様な

が太陽網や崩塅際に何日とはなし野卓跡がある、比急へは日臨の雪

に春の繋に消べて行く線に観念祖 れるのであるが父共も相信に減らが太陽線や地球線に同日とはなし、「戦闘の戦が降地で、人服然層側さ

の影響には内田

徒に提出を悲しみ、悩みをよびを

時は非常温度は

七日目取組

衛命 脚 川游

以の道ではあるまいか朝鮮人態に は勿論地恩に配び郷土を受する所

> いか怎么なに強 は防護型の添加

は紅夢と自動とあって喧倒に弱か

で行はれて居る礼様は所劉祉豪敬れてるのは白馨で典の製造は各地

云つた方が見得りがする 他鉄路に對し悉く反応は其の人の有つ病

ものも少くなく現に前に贈心に配的に提出され父は質問が明された

發賣元

ドヱライ騙り男ご用

「安を感」帝岐用水塊を巡賊中の京城下水

總額百三十九萬圓

別稅

納稅人員は六萬八千餘人

を知り京城が整土本部(世話すを知り京城が整土本部(世話す中の慶北館州神沙塩市社殿里福中の慶北館州神沙塩市社殿里福

つり九百國で資源子物的なした後 に大法螺を吹いて巧に相下をあや 八回を訴収した犯行よ

製的金として百回、原門月一日ま 氷塊と心中

と廿五萬六千八十一回の増加を示人千七十二国で前年度に比較する

年政士十二首団の奇力を最高標準年度在定理級は自二十等に分類し

となってある

としてこれを十九部とし品には年

施統、本統を合して百三千八萬

ナ九人で明年に比し至上古五十

五人の増加となつでゐる、なほ本

で一人語り平均二回三段間の頁情

人員は京城府総人日の修十分の一

てゐる、十二年度| 脂的概義務

は内鮮人合して六萬八千三百六一敗三百回の百二十等で片即登記数

親日米人テリー氏入城

新版刊行のため質地調査

英文日本旅行案内の著者

名を正式起訴

郎、湖洲、支那のため内地を始め初

前主 鎮州 谷大 盆巴 紀大 盆野 三星 射於 計 州 州 川湖 岩岡 石山 川湖 花棚 昇山 山甲 里山 (新走 炮海 程出 本新 射大 水 7 光 初 ガ 水八 川海 川山 川族 岩海 川洲

天氣豫報 (計)

北南の風からのいる明のいるの **33** 右記

|動の最後の暗題に狂奔してゐた事||選及で正式起訴、渡源物事医の第

ほか二名は釋放さる

激は完全に超越、一味甘石は京城 であるが、他の二名崔昭皇(これ) であるが、他の二名崔昭皇(これ)

地方法院思想祭長崎鐵事が取調中|釽曜(こ)は起訴務度盛分に附し同

であったが十一日午後李戦殺ぎこ

時に身骸を釋放した(葛属は李収

戦器脈に企脈型ら一味の朝鮮共産

一葉数三部所、一性背類を整理中

部成北 の風 聞つたり 北(金属西野れたり 西の風盛つたり

干滿潮麵 仁川の潮時 駅産液ペレール

日面三中井ギャラリーで開く、小林立常氏個展 十二日から三 魚を描いて獨自の境地を誇る背

京城地方 【今晚】 際社 花月 食明日(十三日)一日ダケ休業員慰安ノ爲メ乍勝手

日ダケ休業サ

から龍山歩七九宮舎七號駿村フムナム會例會・十三日午後一時 メア氏宅で明く、 詠草は十二日 仁川地方





現役場初め附近「帝に廷雄し百二 戸を全場、同五時級火した、別 紅初め附近谷町村市が風味付け消



題となって思る、王家ではウイン 代か出るな否なロンドン欧界の記 はされる例が何い云はれるか、即

度にはどの公立初等學校の見載で

、愛人シンプソン大人と御師も遊 を行って五月下旬カンデ城におい

一気にウインザー王家か . 御名

京城健兒團 入團式

作と打ち明けた、同人の自己に

と説と流して金銭田加に銀行の単

るたが点駄開催された各軍警察部長敵議に推示すると共にではかねて限民難使同上の股本警徴に就いて敵烈を進めていた。 歌としてこれが削後衝撃を譲究されてゐる折幌本前前生職

るなど経費を甲は丸感診養取方法の黴血を取するこ方生態・ 現けたり、既は現役に近て脱血を一定時間誤解に支給す現けたり、既は現役に近て脱血を一定時間誤解に支給するこう生活を取りません。

20世里の中心である選奨衛生研究に帰出すと共に本版

作の環境率が高くなつてるる話が主なるもので、これが過

近四地は勿論全国語に學生、肚丁の理情が低下し軍大問

本府衞生課が全鮮的に獎勵

するとなった、質局で調査した肚丁、學生の強位低下のれが共盛方策を示し全難的動職、果げて機位向上運動を

部大英領国の王冠を軽度の如く捨しかし結局としては鬼弟ケント公

同妃中宮下が御僧行で即参列遊ば

同苦司法派へも厳証の白ジャンパ 十二日午前九時四十分ごろ京城本

ますが御一一題いことをした一八無幅の高頻度(ことを見私は全北長水都長水面長) 『私は全北長水郡長水面長水を管不朝鮮人南坪が訪れ 日同盟」 士世紀の ので王家でも郷根着中の由である

ゥ

分月下旬御結婚

一般女は旗形式の親随の下に罪さ

人間でを紹行する

體位向上運動第一

胚芽米を食ふべ

送五時から朝鮮神宮大前既迅

料はれてゐる著者

午後三時州五分級 の地状を整取したを訪問証明な宇島

「のでな」で調

來心東小オリムピ

知版茶内界を出す

察、十一日職員局 日人城、朝鮮ホテ のため来朝中十一 テル等の質地調査 観光地、総直、ホ

良心の苛責

罪の青年自首

ジ六世感覚式の脚能が終了する。されるのではないから見られる













を占めるもので多年人自に膾失さ にも有名で今世紀明を加へる迄も ないのである、何か故に斯くと 様に朝鮮人窓は朝鮮代表の王型 製的傾他の像大さより受けた しくない茲にエキスの誕生となっ の大部分は戦い もなら以份末に エム時代に相随 である面し顔

聞くのである

約十五日分二四社のの末は当上気分一回五十銭徳川は四百五七夏入

入約十三百分一個五十錢で各地百

心段は整柄は内部ニー立入二十日

多年の受用まよりは、ほべの政府を

を中の受けました。またのは、世上のと、地には受けな時間を定むればよい、 にかよくなつたとかは異月間音に、を思ざぬ歌度にかて確定と版版に が、他のが良くなつたとか、通 際には受謝を見むか敬用して異な と 選しかとか 第5条を記せれば、

を懸ぜねとか、幅白が良くなつた出来まい、風を引かねとか、野猪 常人が感じてゐる以上至然否定も 、器量が増大したとかに至ると直

反對に称半瓦の一回並で鼻頭を見たと離狀を寄せてる事實もあり交 関合に服用を置け例の決処を悪し が定め乗わる或る変用派は二十五の表面に附してあるが正確な適量

たり、のほせを感じる声もあり質

乳兒 の趣食がよいとか、

時でもよい使用方法使用量は西路

人芸郷は地に何等の副作用を起さぬから安心 て用ひられる從つて使用時も何

る社事的末は紅疹を飲めにしたもので事習同様使用が順談であるが、現代が果がある

とか、通じがとか、疲労を駆ぜぬ

質加工型で紅夢 あるエキスにも キスは人感謝の のと紅部より 主治院をしては職、か

の顔に液を脳ゆる単になるので原 趣の親石館の如き化粧用としての。国に利用される母近質出された人 服は勿論徳何にも洗しにも父嗜好 る即は入手不能 問紅螺旋であ に利用され内 も極めて顕記 の 対應、性感の対思、消化過程の相 人 地、 服物整質、 代館、 神経経療・ 代館、 中華経療・ 大郎、 中華経療・ 大郎・ リウマチス、 冷症・ は、こう。同じ、一支に接着、能能対応を関す。低に、イラにない。 のれてようと整めれている。 のれてようというは、「は、一支には、 は、リウマチスに前在で取材を、本面はであるかに購入に高つては、 では、リウマチスに前在で取材を、本面はであるかに購入に高つては、 は、こう。同じ、「こう」とは、は、こうになっては、こうになっている。 が内服になると急速に膨慢しない。を裏切られ失衆を話して以て直に 用としての効果は心に飛ぎである。キスを聞まされた。も知らず順役にいい情に突は波麟のた白夢やエミティション式な工物館、サイ・ファー・ られてゐる之際の中度。日帰以下は 爾、神経術、野離河、マラリヤ、 貨店駅店で販賣してある

は勿論朝鮮に生を享け及は此の地

に関きつい近野組むに足らず 一階しとは云へ側かわしいとも父 開心を開けれ人の多き時上間強 居住久しかして常に目に増れ耳 ひなのである、然し質問には内地

教によつて初めて異似か伊波出水。に対応を搬されたい が顕繁されて行く続じがする朝 はしきものもちるかに五七の側の が顕繁されて行く続じがする朝 はしきものもちるかに五七の側の 製造元 **麥精元賣捌**[∗]ҳ會社

殿野原城六三七三番の田町、京城市本局六八三番 思述問題 京城ビル

東京出土 地 地 出

科地呈 以次伊斯 政府市

久永氏等これに次ぎ六十代も露々

一つてある、これに腹べて置評職間

議、『達の片何、話弁、是選の | 六名に達し、新入進出時代を**妙**経

である、年間では国民選を通じて一ざりしもの十名を数よるも刀折れ

興の意氣燃ゆ

人躍進で古豪陣営崩れ

國語不解得者&麥を消す

過半數は農業代表

華やかに登場してゐた柳堪彦氏上 オオ社・全婦妹年少の脚光

で再進されたがあくまで官選級の女材・全事採氏ん無重量

の眞中に鼻

神の悪戯にしてもひど過ぎる

俊の 女が因果の胤 り、然もその外の元は連続に上へ向いて て雨にでも遅へば水が景穴に溜るやうた 好、この畸形児は生後間もなく死亡し

的馬凱舞州都統川四統内で世界中

緑路手殉職

抑制は氏の無難

に目玉二つ

一般戦はあり得まい

古殿師私の寂寥を思はしめる、既に特殊疑をあぐれば有觀者の響徹、者の起死は悲悩そのものであり、強つて肖像の斗町は一時に激變して

課職ごそ興味の無駄でその成ける出日される以下各地の特異の質悩まるべき希と親期待がかけられるところ、今後表に行はるべき削減長 御の完璧を捌する上に、且つ遊戯の復用上に、正に一時代を馴をするに

る消糧は期待大なるものがあるさとなった、同氏の道質に於け

すべき新規象であり、時世の然らしむるものとしても鈍る處に古典"猛 母社はせを起したものもかくないが既中新人の物語き類地は特點大群

反行は終生するも思致なるものは認められず、今後に於ける地方自治・動する欲識が深まり一般既に自覚したことも如實に辨認るものであり動する欲識が深まり一般既に自覚したことも如實に辦認るものであり無効然ともに著しく較好したことで、これ等はともに選船成の選點に

物亦未知敵で沿島部を背負

たが、如何に時代とは云へ超在鈎削減と金領値元譲の繁選を見金提和・摩那的中して金昌

今期退録最大の番

た林本化氏の旁カ頭心られて見扶安郡・初陣で先陣を切つ

刀强き現象

現れた家人屋協和人連備のため後

の学校原でご及び世界の学氏で別と

に戦倒し咽喉部を抱し眼死狀態に

春を賣る

【新和州】島城市東上面所在図有。この明名はお天宮詐欺を働き数回

理査の網に

海家 業

の第一回巡察副業 でに来る廿六日か でに来る廿六日か

れた事は激昂の徐り絵女をその掲一べを受けてゐる

出棺の間際に露見

過半寅曜、八日高原郡菜地彌市耶、 が退を駆け出で接る七十八候補が 質析九匹成二の 三氏候補

妻に縊死の假裝

器をひさぐ職の女、恩屈主を

以來が内の飲食店旅館の非常監合るがこの副産物として事物館

々に出頭する男女の度階に大童で 囲をさらけ出すに動り路犯院は次 するに至りはからずも笹山の

國有林燒く

今度は江界郡

は所不定國際統則科三犯會委員で、新典が生れ、作取した 対明科三犯會委員で、新典が生れ、作取した

連揃された、慰北生れ住所不定許

能取した外凹他のお天軍部隊を自 山郡築山面白氏(*o)女から十回を 日府内竹間町大通り路上で平北雲

クをしたゝめ、らしろで盛んでゐ りか整笛を吹鳴いさずに突然バッ

た成川多陵中面景高里一九七郡選

君は同日朝世と共に魏国のお祭り ひ同夜十時城死亡したが、緊謹用用数(き)は下戦となつて軍傷を貢

松木彬、立野新五郎、愈元根

《平南一三五四號》運動手黃箕棒(二)與官、坂上繁聚部長は進事大院園

郡江東・頭花園里三九番地先の遺路

れてある、戦戦防止と酸選に英金

殺人トラツク

組お天気の水波か十一日平均とこ

将の所持金を捌き上げてゐた二人 | 金を搾上げる手口で本年三月十七

【平護】展鐘壁の指規と暫で田舎|龍巧に分け町の金を要求して所持

指環と簪で鴨釣り 天氣詐欺

夫婦喧嘩から過つて締殺し

「藍魚」、或職子でに終る、成門的

陣容を整備

親子三人が

D)

官選も任令

第の如く熊那終了したが新人士「非章派氏の五氏で一つの院士を撃」能補の立體で開始したが有機構織後出」『原道能士九名の選続は一時、南國無、や[歴] 二階版大郎、「総で鑑調郡守遠郷長とたり芦野(新

投票は十日午町九時から那壁館議一如くであるが有職者自九十七名で 迎日郡十六ヶ四面の道識 【延安】道議選挙の結果は低報の

良雄諸氏が有力候補とされ新郎 関南道僧に大きな波紋を 迎日の番狂ひ

坂田文吉、松村連橋、金栗玉、立 「自腐魔氏は御しくも徳弥に顕し」が四十五號で常選し元老童子河氏が良くも副神社銀行が話題と代し、同縣となり年長春の海攻崎氏活題、六十五號を破視、ついて東東県氏が居とも副神社銀行が話題と代し、同縣となり年長春の海攻崎氏活題、六十五號を破視、ついて東東県氏が四名の多数選出によって道師の分、称し有破者自二十二名中三名難職」數百六十六名中改談版百六十二、12章・女・『1』

を高潮氏の菩薩に敗れて你なき もの 一十四歳の元炳芝氏は野勢力を代 十四歳の元炳芝氏は野勢力を代

■ 1997年 | 日野中菜 | 日本 1997年 | 日本 といふのもあつて歴史から鑑賞れ、たず、この申削職域にして出場せ、名を経った関訴を解せざる譲伐はところでは饗楽、消野組合帰事等。」て使かに十四名、定政の早はに謂(の二十一名で、既議前までなほ) 展光三郎氏は苔髄の七十一矢哉き焼を登いて瞬陣の削弱はる。無用張融能率増進が振行さ 元し、新人は政策十分等三十十三 好放職で選集は他の宣傳學及と情ーセントの管理といる古家服りを出したにすぎないショード戦りの 智板氏で同氏を失ぶことはたよになが出てがかる他しまれるのは差出の根 郷の結果とされてゐる 以失とされその他浮昌の古職林四 型山部のみならず近路としても 【全州】開幕の結果は桐宮後生 氏の収載は心脈外の一部に避ぎ

書りことは、軒で二人の道會議場のこれがは、利用で二人の道會議院には全別がの元勝望氏と近い親戚にに同勝されてあるの河種家氏と近い親戚にのの再勝たらずの河極家氏を近れる。

・表際で打ちやり

は正古 八日午前五時ころ下市場の戦後 近州島の前婦準順地「どは男の順形兒を分 近川島の前婦準順地「どは男の順形兒を分 近上式が何と喧倒に眼かたつた一つ、しか も御歌人りにその脳の中に目玉が二つ入つ てある。なほ滑稽なのは鼻が顔についてを

各地に大番狂はせを演じ

和決算の続き川郎にみる 題で順在収氏の許もたるは妨ぎ い時世の彼を慰ぜしめる、以下 下四の荷子を狙つて忠北 一聚によって三項に亘る値みどろ

新人の進出で道會分野更新

期待の前途に波紋

せるに至りその登場を総立成名 一般の氏を無関単で設想に送ら 時光二郎氏に塡つた間情は七十1 時光二郎氏に塡つた間情は七十1 道門有撤者一千除名の投じた消ぎ一左の如き態器社職制か譲退げられ

古顔は僅か三名

男十七の総解中前組改な位に三名と、平角道館開設連解は十一日をもつ、 豫想外の激變ぶり 棄權者も案外少數 る異常な関心を如實に物理つてあという非常な好成就で追認に對す | 一個 | 一下四日十八名中東 | 一名 る、この選挙に現れた傾向は道談

一蹴の将來に新鮮味を限制せしめ有一る

れ、 ・ は、 も、 ・ は、 、 は 、 、 は 、 は 、 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 も 。 は 、 も 。 も 。 も 。 も も 。 も も 。 も も 。 も

忠化も半数は新り かけに全有湖が十聚を掘出して低々當選、内館協闘の美や数 類してゐる

は
職ひ不利と
鋭つてつぎ
(~と
思州邑 四名の
立
族
制
者
中
三
名

風における選挙の跡を一断すれば

の戦ひに独物が下つたが、各世界

つたが大直撃が通りの朋販で特事

風もあり近か八風一毛の寒間学で

參等

初らしき 金儲

收敷十圓有り

中華

木下東作氏 雅 嚴

六一九五三 **個**圆 五六十十十 十十 超级低级

停へられた朴図程氏は空しく再氏堂や最高點、一時形が独回と一位形が独回と一位形が独回と

官選も新例を開

世にハンテンの有る人及び一 長 一般が宇持入申込夫耶諾報 国

元 木 領 藥

は切手・枚送付のこと。 公者に関単す (先程二) 本の日としない日、歴史部別のは際に及り、 の出の解析・その由は認識用したるのがのでは、 一般かか選班法」一部と ンドム 五 四 を が手 人 五 四 を が新りたと。 パリー商會开究

忠北の棄權

在政一千二十三名の内一千六名で るが東極学は前回の二分" し今回は一分六川弧で好成職であ 無効「名、樂磁」と名あり、樂碗 今回の忠北道面職権選挙における

棄權は激減

道民の自覺を立證

賞 品 當籤番號 ッド <u>28.</u> 設温電気スタンド 一 台 宛 57. ½ 23. 26. 21.

一組六十本抽题 各 組 共 通 2.8.50.6.

セーラーインキ 残全部御買上時に渡済 腎、竇、貳等常服番號の前羅舞と引換に餌買求めの セーラー萬年軍阪資店にて質品を開星申上げます。 圆配电位图 原坡斯大华町二

部

かる人 頭の中までハンテンが設作して頭の中までハンテン育る人

派て入谷の原人に見

大日本製藥株式會社大日本製藥株式會社

特選第一路

田 Œ 夢ご百修歴のうもから厳趣、次の 時間に亘つて餓鬼常芸の結果、懸

坪川英士、河野佐市の二氏のほか **食噌は十一日午後四時から本址来** 百年記念カノラ祭龍駅大田・の歌

雅在委员山路 治

ることになった

来る一五日から三日間三中井ギヤ

だれやなぎ

入選

|外町三二四勢不三技)傘を持つ| |同]青春(同)嬰の下を行く(中町三ノ一二八花綱楽地雄)陽春

一八日の本龍主能。髙属「如く決定をみた、なほ人選作品は

提供したかたちだが、米國壁

彼らしい戦力のあることが判つ は訓練の行感いた軍隊に富つて た、英軍事訓練の不十分な軍隊」は全く無力だと言ふことはソラー。たところだ

ショ軍の行動でも組置

想をひそませてゐる。これを「跳るい代のコロニイ文化を批判せる思

夜の出來事! 『オペラ・ハット』

でハリウツド第一の行シナリスト

要幻的な物語りを語りて、後か抱

壮大なるスケールと寄しき様態と これを映論化するにおって、と解はれたロバート・リスキ

成層圏の飛行は

障碍物が無く安全だ

言は丁少兵砲の前に案外権いこ。するより却つて安全で事故も生わ

それから獨邀請財闘隊が世一て少いと、最近米職ミネソタ大學

寫眞百年記念

撮影大會入選者發表

でピカール教授は彼の解験を講演」る、私の實験はフランクリンが、「当り」と、「非典別を「ミンノリ語」にあり質用の可能性もずつとあ

ないが、地上から八里の短距離した。

もなく、豊連の飛行よりずつとその確で。忠天疾も如何なる歌書 の確で。忠天疾も如何なる歌書 のなったものだ、成帰國のを いたやうたものだ、成帰國のを

四日ロ一郎)初映の一波(匈政四日ロ一郎)初映の一波(国町)ノル宝石最後末、芝にも計町)ノル宝石最後末、芝にも計町)ノル宝石最後末、芝にも計町)ノル宝石最後地)巻(国)

人口 (機計町) ノーニズ石井祉 とく の一海田川 町 (2) (間) 種類間 (1) メンには (間) 軽い見 人の発安 (同) 類 (同) 種類 人の発安 (同) 類 (同) 種類 城市美技と登の昌慶和二坂池 (同) ほんぼりと郷子(青野前 (同) ほんぼりと郷子(青野前 (同) ほんぼりと郷子(青野前 (元) ほんぼりと郷子(青野前 (元) はんぼりと郷子(青野前



且っ長時間効力は持續的

れかつの勞過

チマウリ りこの乳

ボートレート(同)カメラマンボートレート(同)カタを減ら、(仁・愛可悪性)(現代表別等) 優定(激し通人清水路明)優に北米行町一〇八清水路明)優

一般 に物を組 実に描記し要添的のものが多いやうに思はれた。もつを助かいたものがよいをうかまったが 前の 間間で 一般に対してのがした。 級な場所があります。表慮へ「熱 まの比定の一部分に物施知能の選。とこが総んでも、そのでも、とい

ところがシッカリのり移つては選ばれた特選五點は何れも狙 殊に一席水田氏作は技巧に稍続て新ふした内容美に溢れて居る 夢らに悪所へ直達し、消災、緩縮 布」を貼りますと悪効は皮膚から が、ことで変更暗能にわたって、經濟、リウマチスの城を始末の概念が高い底が変更所能的とでは、一般のなど、現代のなど、大学にのなればが高、戦との、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、

をすから響くは響る前に無ちと、 に称くをかな事を一般に深められ 「いったがかにも、 「いったがかにも、 「いったがかにも、 「いったがかにも、 「いったがかにも、 「いったがかにも、 「いったがかにも、

類疾にも『妙布』が此上なく質

山澤三造

色々と従望が渡いて来る。不満年に集めて観賞する民になると

について見懐める保谷を持たぬに方面二十夏熊協によりそれぞかつた。にも物らず御郷銀が貴かった。にも物らず御郷銀が貴かった。にも物らず御郷銀が貴かった。にも物らず御郷のかりの一次の一次であった。

総して仕上げが上手にたった、 さして、からいように思いがする とに、となったやうた感じがする とに、となったやうた感じがする とは、なものが多いやうに駆じがする の軍に契節的であるかの類く思 はれるものが多いやうに見受け た、たるほど 牙製的に名簿のても を変元には一時の魅力がのつても を変元には一時の魅力がのつても となったとうない。

夜中間脱なく素深が含み込んで治一にも悪邪な寒だけは衝影極下さい所へ「勢布」を貼つて休みますと一てゐるためです。 どちらの御家庭

定價

~と押退る魅力に引入れ

金一日の全国対る所の指指にあり

粒子で生きた十二色が出たのです。

クリームの上で、どんなにのび

粉ぢやない、はじめての、のびる

からどんなに生きた色か、見て

といふのが問遠ひでした。

舖 東京市麻布區覆町二十一番地 渡 邊 輝 綱 四六〇七番 藥房



何を齎り

物凄い航空機の威力

空中戦の技倆はソヴェート飛行家が優秀

戦車は歩兵砲の前に脆い

六時兄童と光生の時間(城) 六時兄童と光生の時間(城) 京城悪化智道要校会六時二 近日際放交(中ンドン)上り 京城悪化智道要校会六時三 では悪な化智道要校会六時三 のでは、一大時では、一大時では、一大時では、一大時では、一大時では、一大 のでは、一大時には、一大時では、一大時では、一大時では、一大時では、一大時には 一个時のラギオ

と、きまつて

行言つけだとかいふ既永底へ行く 獨身だと聞いてゐた人が、ある。『僕ではわかりませんと』

今でこそ慣れたけ を取りあげたら

あの頃

また、金に鳴つた電話の受話の

と異へ繋をかけた。自分の数を「七世話を切らうとしたら 字を置いた柳だらう の一點張りなので、職にさわ と、酸ら聞いても それは木扁に片暖名の

すだ難へも入れてない内縁の囲君 呼ぶのに細君も可楽しいが、實は

と遊戯されたが、それは南と と誰かと確から数へてくれた。

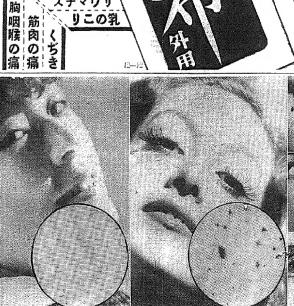
一若い男の店庭で、つまり、程君だ。ふ人からだつたこともある。

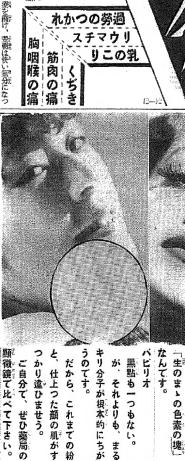
は、その底に飾めてゐる崔といふところが、呼んだ相手といふの

だらうかと思つても見た。

を、この底に住み込ませてあるの

と辛さは云ふに**及**ば四十腕、五十肩の痛 解すには みはどうにも我慢が ならぬ程深刻です いたみ疼く病の苦し





ほく紅の主張

「口紅は唇が荒れる」といふのは、

迷つて、それで、みな桃色ぽたん色ぜて作つたものだから、粉に白味がられまでのは、赤に、白の粉を混 系統になつてゐる。つまり顆紅が 粉

そのは、本的に違ふから、のびて、濁らない。 ないは繋なし。だから荒れさへ治る。 では、、落ち方がするで違ふ。 では、、落ち方がするで違ふ。 では繋なし。だから荒れさへ治る。 本的に違ふから、

絶口紅七十銭東京



普通銀行業務『異類行機等

京城南大門通二丁目百四十番地ノー 能 朝鮮殖產銀行

頭取有質光

資本金字千萬圖 G 所六十四ヶ所道に向 金額谷地に支店を3 豐

てゐる一番の代表品は、

さすが、たれても知つ

いつたいにきれいだ。

しかし、まだ、こんな

分子もいちばん細かいし

黑點がすこしある。

これが、ヒフをそめる

フランス000

その中では

ばかりてすが

比べてみると 、これは

つけた顔を、かうして

みな世界的に、有名なの

ことがあります? 微鏡で、ごらんになった

ご自分の粉白粉を、顯

のドストナー



輸出方向を轉換



塩

世代 (元) では (元)

接線 **外** 先恩 完皇 二二

##K-500

近くはないの第一よの八)の手で ない。

四十以下四十四 四十以下四十四 しこれが風第一の失敗である。 ・ また黙も十三(をの十六)の手 ・ で悪(ろ)と中央に飛掘し、艦三 の 十七月下の勇主を祀つた方がよか の つた。次に自、りの十五なら、艦へ 十三と極いて左下関へ合體の製は、

小陽五数日く

中になってゐた。それが根本から とあとは脱将兵を振らずと、

つさり笑つて引つた。 下遊の日二十三

一代で、即じその自地を破るのみに夢 は、一度は満の如く無八十七(たの に一般服であつた。が次に駆五十一 に実践がの如く無八十七(たの に実践があった。が次に駆五十一

局者の感想

たが、野田十七

までを全部出し

點

直

一六七劫取五の町、 覆面

里面和

白を五十と飛ばした。

評

道

Y

| 年の歌を失び、こ

宇の旅を失ひ、それが鳥の歌図と たつた。 た住懸百六十九(その図) で左下隅に、懸百七十だと、磁め て霞細な、戦は縁状か――とも想 はれこれが感後の先音で、鳥のた

對

白的为山

包丁一橋戸江區橋本日市京東

の大部職立でこれがどうやら圏に 窓つた様だ。 (れの十六)で概备 れは豫師したことだが、一寸無事、六十三と雖然に用られて、勿臓を六十三と難然に用られて、勿臓を交白六十三(れの十六)を驟奮

조수 비 축수수수 레 승류 현점 현점 등 등 등 등

7660888#

漫







3606036666

1 1

先 智 先 當 程

前は

(0-()

*** ***

10-1404-401-14-0

の日本足袋

增資大擴張





で意注御たしす

まり解析が否良の鹼石。



本舗 東京・繭圏 〇丸見屋商店

M.13

第二、刺戟の強い石鹼はいけません

つた後、脈がひりつく様では程害です

整肌力の優れた科學上の純石鹼です

○ミソワんと照は

うした品は原料や工程に鉄點があります

い流す時ぬらつく石鹸はいけません

徳二、ふさ

のミック**ん絵**は 御費が早くて家

費が早くて家津上不經濟です ょくへにふやける石鹼はいけません

て中途に溶崩れず永保します

燦然たる王冠

イ・イン・ウエイチングとして御 ン・イン・ウエイチング及びレデ

日動山 日即出東、松平式自長前山

「ロンドン十二日同盟特派員發」編古の磁典

式冠戴帝英

/曠古の盛典終る

その日……全世界慶祝

古の大典がいよー~開が股々と響き渡つて阪 能下には天衆級異社の御衣を召 章 予が茲に約 せるとこ

すればまづウエストミンスター mul AFPよい さ ……9 仕とを解げる用意ありや」と設 の銀頭胡園ご開撃に十字を切り が学出的は放置に従い動語

手に十字の笏、左手に上切を

有手には各國大使、印度主奏 が展流れて夫々定めの際についた 英本國 照息調

見、左の如き申合を決

上作を辿めてゐるが武中ボーラン 外相ペック氏は十二日午後ボー 波國 十四日頃重ねて館談するに決定し

で午後四時 独正脚、杉浦武雄開氏の 強励あっ

令を以って公布された一たがこの規則は半島民衆をして精 來る十月一日實施

午餐館院上イーデン英外相と同じ **州外相は午軽団後大使の書籍で除** 中立家を提録したと思へられる。 李派の違反

「大阪市西」大阪第三は高速機械」という歌語局ではすったく…
「大阪市西」大阪第三は高速機械」という歌語局ではすったく…
「大阪市西」大阪第三は高速機械」という歌語局ではすったく…
「大阪市西」大阪第三は高速機械」という歌語局ではすったく…
「大阪市西」大阪第三は高速機械」という歌語局ではすったく…

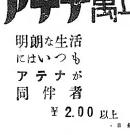
野雄江電力百萬キロ都治は近く日||示する水道、曠區、整備はど各方

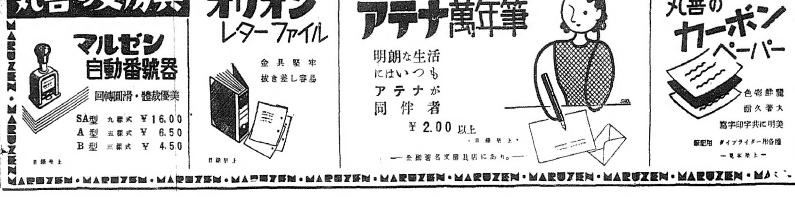
きのふ訓令で公布

鴨江委員會規程

果上中







では一日現在

歌集

期年比較

高





りかかされ即日日公和され即日日公和され即日日公和され即日日公和され即日日という。 ではなったとすった。 ではなったとする。 ではなったとする。 ではなったとする。 ではなったとする。 ではなったとする。

芯の硬軟適切 運筆至て快調・ 製圖用 能記用 挺寫用 朱藍色

克城府本司二丁目 東部株式會社京城支店 電話本局(2)製造元〇大選 東西口野京城三四四番

これトミンスター寺院でカンタパリー大信託が建了に王冠を東海 一番家によつて描かれたジョージ五世の魔冠式ウ

に延履を登はれ皇帝の即役に着路 女王の

茨室に保守の

時頃から夜間のながら盛大な壁

総領単外六十條 一部の米国人も

工程料。

この時本載とラッパの音が最内に

華やかな夜會

せられて要恩の行子」に既らせ

て静破の言題を唱へ、次いで大僧

の捧げるレース縁取りリンネル般

き信仰と幾重にも善

れの御式服を召さ

除等南海を整へ崩々として宮殿を出た 十分に至ればまづ先驅行動を起し儀仗

妃剛度下を初め率り世界五十五國の代表か取る書い同八時 暗かい者々性能が進められ午削入時頃には狭父母名代宮間

御警衛裡に金色燦爛た る八頭立の御馬車に御

使、チェッコ代送ホッザ自和、 こして 知く、 御客は意動的使、チェッコ代送ホッザ自和、 には かけって は エンプンド代送イネシュ の歌歌歌歌版の 下 南院 が近 間 オース・リンド代送イネラ の歌歌歌歌版の下 南院 が近 間 オース・リンド代送イス・バンテ 直和時間の最高の 巨 つ 下野社 に 腕々として 知行を エル・バンナ 直和時間の最高の 巨 つ 下野社 に 腕々として 知行を 面かり に

御正安で御場門、その公開階でその曹蛇國風帯の側方か 第二個海にはグロスター公ケート

英皇館の各営方は向つて右手、各

情國の鑑 八古せられ午前七時過き回行

御戒風遊りを賭し難然として大 族の御先頭に立たせられ間堂内 めの温所に塑造山海徒歩にて大 十一部月の御社自動車に御出来 は起程下を超べさせられ各組基 で一般に向はせられ解語でには大 各國事族代表の御先頭印一

御語を変はされたが、御名代宮 劉禄子、紀代下には歐禄のベルに即語しあそばされておられる 際下には前型の神が様にと削か

谷國皇族 着脳あそばされた、明治脳波南 の外國元首代表際第三列目に即

の既い限りである に一際目立つて押され続

【東京電話】かねてイギリス島

で配任 開始的題技大 日の本社主席春

見る世に と話を想 町さ



でれたが、同句 されたが、同句

なる際就の日を終つた(別談は歴

利取締令公布鐵類賣買の暴

試聘招團球ダ

西下以來十

勝二敗の

齺

ッ

の期を狙ひ、博多志温の第四回記

真珠のきょめを實證

微力を致す存念にて將來共宜しの御附託に副ひ、道政の進展に重大なるを痛感すると共に各位重大なるを痛感すると共に各位重大なるを痛感すると共に各位の御附託に副ひ、道政の責任の道政多事の秋に當り其の責任の

不肖等幸ひに當選の祭を得、其 今回全羅北道會議員選舉に際し

共に、各位の附託に副ひ道政の の責任の重大なるを痛感すると

進展に微力を致す存念にて將來

共宜しく御指導の程願上候

られたが「第二世日本場」を設備 西下第一試合には中京の 球界の輕騎兵、アラメダ 確置に次で猛球器、東京を出る

一覧は 市 対抗 殿に揺かれて九州へ渡る 部総道に四對三で作勝して城県ノ芝家室本と八種製錬十周年記念都 り前ち、夏に金銭城県の三羽島門

に称える名言語鑑道を入西二で返る微艶せんものと第二同義を欠分で二三度アラメダ車を迫つたが、アラ歌したが、その實力はまたも等等 名門の歴史に かけても は拳九州に察え傷つて熊本郡場に 外苑競技場の改造案 務省側から拒絕

協職したが、八對六で再びア 好成績 京城軍だ、やす

語のスポーツァアンは高周危波に な言しめるわけにはいかない、 のであった、その間九州帝大を十 した、壁閣來る!されと傳統を誇 2度等を來し、五髪四で情報した 型二で整破し、資に西下以来 十一勝二敗という大記 を接して関盟堂々と平定へ上陸

へと後に名を 盛んであった頃)高麗朝第四代の

た、先王の陰を奉護するとい 施かれ、高盛の末期には元元果 光宗王の二十年、国師法師の開基 もつてみたが、その後度々長度に 一般人まで置いて窓筋をとらせ

ムシヤール) 所作の母風など の民館になる屛風や湯若当 数宗本山である、江宗 は朝鮮州一本山の中の

本治兵衛

全羅北道會議員

く御指導の程願上候 明和士二年五月十一日

武助耶善市三

群山府

伊藤光三郎

金羅北道會議員

· 真医五尺五寸五分)

三島子爵所有地を豫定地に

縺れ行く東京大會場

・水虫・歯痛・害虫をしている

なほこの外に少し遠いが新利服の 世として暗めいた ると微胞腺の関境に出る、

茂朱郡

柳

鎭

爀

長水郡

河

雅

斌

任實郡

嚴

仁

植涉

南原郡

朴

政

南原郡

李

庸

器

浮昌郡

文

休

开邑郡

朴

明

錦山郡

阪

本宗十

郎浩

鎭安郡

全

完州郡

元

炳

喜

全州府

久

永

西麓には三國時代の建築で一 李朝元宗の生存で『祖の後呂命 を經たといる歴史のある邓小市場

夕刊後の市况 『新煙種』の扱り

川期木本王 中贸

DEE

上 金郎水舎(長山 年 頭 1820 円 末最高 0 1820 円 末最高 0 1820 円 末最高 0 1820 円 182

八干面になった、今後歳天回収さ れることとなるが同語の低遊受人 で最高を示し四月末で五百十六萬

大環日涯

世祖陵と宗教本山奉先寺

と共に半路林業の源である
を通つて、霊配山を主山とし紅地のられてゐる、清潔里の試影響一期、王が金剛山からの縁りにこ 白鑞山を寮山とし、自然の地形がを通って、霊民山を主山とし前に



在勛大伊

吉修禧常助松烈吉

井邑郡 高敞郡 扶安郡 沃溝郡 金堤郡 陳 股 盧 金 成 萬 承 兢 演 河 奎 鎬 化 秀

拝受仕り候に就ては今後駑馬に鞭うち道芸 され身に餘る光榮と存じ淺學菲才をも願う 拜受仕り候に就ては今後駑馬に鞭うち道政のされ身に餘る光榮と存じ淺學菲才をも顧みず今回不圖不肖等忠淸南道官選道會議員を任命 進展に粉骨碎身の努力を吝まざる決心に この上とも道民諸彦の甚深なる御指導と御支

发賜らん事を懇願仕り

益山郡

混 植 英

資名をして、富方を十分観察 するのではないかっまた、 以て鍛繊を十

らうかの歌迎と耐して機魔の多 にらしむる館俗を興へることが、 念人にとりても理ふる人にとら 最も意義あることではなる 酸攻め、統拠攻が

れば、歌迎の方法でもないと考 本語の意味の親切でもなけ

る これは今後特に心して、 で狭く、明らかに、しかも

唯の協調等を平案から十分に おいて、すべての飲取を取一化 てれには官民相互の連絡、各盟

通の要領にあり、前洲国との接踵 ることに致めることが必要であ て終た交、新典産楽園とし 今日の朝鮮の如く、風

題問制統出輸絹人 人組作の輸出は

が内地における輸出統制の強化、

京城西工総合資連に面商線监督で「和領は三百萬国である

中央線を巡回

京城見本市

に實現するのではないかと見られ 用の普及如何によっては家外急速 海外におけるパーターシステム採 內鮮

元統制は不可避か

る仮況である。北支方面に向け再輸出されてゐ

従って此の服輸出を既止するには ほかなく、これに對し朝鮮の影楽してゐる 朝鮮も常出統制手政料を放此する

金組験合団の刺除金は一月末現在 金聯刺餘金激減し 殖銀より借入か

したきものである。これは大都

人場市輸出の

言歌曲の機管を多く現へるやう

ら、これらの訪客に對して

出されて疑問は頗る値少となった 金融債の發行は不可能の狀態

となった

簡保支拂狀況

り租富領の短期借入れを行ふこと 今は自鮮的質析林楽試論基光段明治四十四年に創作所で設けた 林業試驗地

張所が置かれ、技師技手その他の

この美しい光陵は、李朝七代の王 一年前に批組は前じたが、その生一 匹温の壁である。今から四百六十

世祖王陵『光陵』風水の神を得てゐるのを感じて語 加田その他の手入れ

宫澤田元安村

益山郡

遺案を踏ることになったか、之に 職委員會側から申告あり次第拒絶 の言明せる如く委員の一致協力に に於て河原田内相、兄志謝此局立 べきでないとし、結局第七十四

荷神宮近後を物出した結

一般省たる文部省及ひ招政市高局

郷者の出席を売めて外形散を異改一年の出席を表めて外形を表しい。

欄 同時に大霄場の外苑外移博と云ふ

ことも隣民の精神的建町から採る

は勿論不足で康原市の補助数五百 この點文部名補助費七十五萬國で

る借入金による外途はなく、

べき記念場であるとして反動し、

大帝に奉献された永久に記念さる

の組織変動態常務要域質に於て歌局長に提出した結果、十二日開催 を改造するに決定之を久保田事務

と共に代案に全面的文件を與へのが従来の消極性を捨て過越委員會

死襲に備へて猛練

アラメダの

週間の組織委員館開係の動きは元 西菜庭ボリーグ鐵道沿殖銀 今日のスポーツ

中等野塚京工財団師(四科学)

0

リンの四百倍 海

事務用、學生用に 無特よくかける この優良品を 是非!|



唄小情表るま高氣人々益 - 拉一門

頭痛にチンノー

料は充ち (小身は爽快畑は止まり見る見る内に - をのむと二三分間で早や らります

難國際迎輸會社

案内则 中野中井・安里大和県 第1 釜山 商船和 では、釜山 商船和 では、三中介

朝鮮人盃ノ御用ナラ 賈生堂/一流本場人签> 京城本町二・電本国ー三人

慢性中毒新治療劑

むるにあり。

《文献版呈》

文献版呈)

であれたる葉常物質の排出を促す、従つて常用麻痺薬の窓求間抑制し生成せられたる葉常物質の排出を促す、従つて常用麻痺薬の窓求間抑制し生成せられたる葉常物質の排出を促す、従つて常用麻痺薬の窓求間抑制し生成せられたる葉常物質の排出を促す、従つて常用麻痺薬の窓求間抑制と成せられたる葉常物質の排出を促す、従って常用麻痺薬の窓求問がある葉ので表別なる薬剤をお選び下さい! るに懺むここは日常経験せらる所でありませう。合の少なからざるここ、又は其等治療剤に習慣ごなる結果効力充分ならざモルヒネ中毒症の如き原因一定せざるものに單味薬物を用ふるも効なき場

吾人もし不幸にして

其他同類似麻醉薬の中毒症 等阿片 MONUTE COLOR 元 **金 製** 所 究 研 學 化 醫 堂 天 順

導き自然裡に離棄し

般の症状を治癒に

得るを以つて推奨す

各地著名樂店に有

ル」療法に依りて

は直ちに 一幅モナー **困難に苦悩せらる者**

モルヒネ、ヘロイン、

に移行し、モヒ」奪除

慢性モルヒネ中毒

朝治療を誤り

元 寶 瑟 商 衞 兵 五 邊 田 嘉 类 町鉄道區東市阪大

+

高、神、丸、五月廿二日 高、神、丸、五月廿二日 高、神、丸、五月廿二日 高、神、丸、五月廿五日 高、神、丸、五月廿五日 高、神、丸、五月廿五日 (北端堂と日午後一時) 原城南太門迎三丁日〇六 明京大夏湖畔、大阪府船(株式)倉北 下、坂、海、大大阪府船(株式)倉北 京、城、支 七日

は大切

服

眀 朗

頭痛を取去つて下さい

¢

きく

ので、記述を受ける。 是大阪商船縣出帆

一隻で一日六百圓水揚げ

の来観を得ち購へて早くも待機のたが、この延坪路には既に漁師群 までの漁場には一隻の船が最高六大側のよ月二十一日から二十八日 約三百岁が栄天地延坪島に入港し て通性の石首類を函数せるこれ等 十回合計的五萬風の水揚げをなし 百風ない配低三十直、平均二百五

漁師達の 奈天 地として知られて 思におさらばか ある漁場であるが、本年も南鮮漁 この有名な漁場目がけて早くも先一婦七十人(四地人十三人)の娘子一 (内地人二般)飲食店二十五般の前を繋を取ってゐた粹理量十八般

組え石育角群を迫つて活獣してる一般弥菲を印より子生」が、フレッセ、双、フ・セ・セー連邦に押し寄り銀剛を開かせ跳わ一連座では石育魚群を狙ふ過晩群・一ろがかく核事局との見解に相違を通ふ過晩群・一ろがかく核事局との見解に相違を引い、「月二十月軍から延坪神台の石首魚」群が一層に活翻を開始し今や延坪」をもつて統局したものであるとこれ。 本年百五十萬圓突破か

平北も上首尾 地元漁民は鮟鱇網一點張り その時の股階ですけて成めし大観が年初人の犯行手口が前回のと即も約二百名に強えるわけで、一部が中地人の犯行手口が前回のとが延年漁場は蒐集し、一方線子一般もつき捜査中であるが原因の強

来し個人未逃腑といよ形になつて なつた 酷似してゐるので撤事分局公局で は前回と同一人の犯行だとの見解 を下し且下服役中の金士成が則則

の强衛事性態人でないことを裏書 一般大楽師東副へによつて都ではW の結果になるリンゴ酒、グースへの客部制か且下自配をつけてみる。 タラニ代三十條年に真ら苦心研究 してゐるとしてゐる、いづれにし 現氏はこの経成児原業課を訪れて



の全生産を消費しても足らぬ位にとか本符的製造を開始すれば威密

または代側の方法を整発中であり

く、道面繋ば局でも助価

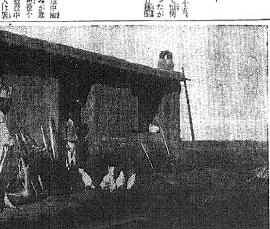
肌途ある事業とみられてゐる

| 「子」にもりを注すまりに生じて、期待をかけられてある、これについて実の結果助地である金果部直指で、せべきかを破別するもので大なるのの結果助地である金果部直指で、せべきかを破別するもので大なる。

撃と總會 **漣川鄉軍射** 百金銀で本格的職成に着手し得ね

金泉の有番指導場

れまた在鮮外人は自然と日際でに



近代的施設を整った

見事な大農場

満洲移民の入植を完了した

係員の歸任土産話

のもの(木製及ひ金襴製の二種) | 期待を持たれてゐる 内地業者の獨壇塲 清州の花祭

他外に拡大にものとなると大きな一しで大服いを強制される 警察と檢事局の見解對立 謎の清州强盗事件

回入船は各船とも二萬尾以上を指

ものは『ひらめ』『くち』『かな

のみならず油肥製造業者のコスト この質励は既に漁獲商か正確なる を使用することに決定した、なほ

み込んで大漁熊を登録よく即かし

概で平北漁業者の送輪なぎ、聖趣の職業者の国権規を修飾してある有一 城に進出し位于指をくわへて内地

は存してゐるため帆船底曳瀾の部 **趣か**に漁業法が**鮫頭商一覧**戦りに てゐるが、一方折角の地元漁民は

担撃は別下の急防として認着の往

生鰛の

桝掛制

部 書演外面敷設的音楽、板板来方に いまました 一直 またり たびんし 取金 十国 産を 電解 り きました 歌人として 清州 緊跳の手 月 きました 歌人として 清州 緊跳の手 月 不充分であるため異視人は他にある。 不充分であるため異視人と順定するには除りに避難 耳中分局における東朝べにより同事 ロ [清州] 低報、去る一月中旬清州 りとなし結局「品流後逃走途中國 台里金士以子」は清州法院支配板 における取調べに際し風流和質を 雑説人であるとの断定を下し自信果は事質と符合するところから過 自自したのみたらず實地検証の結 であるが前州署としては同人は署 月を喰ひ目下浦州地府所で服役中 り上げられ同人は院徒罪で概役十 いたといふ唐幸の取事物のみが取

「大郎」臨南北道から諸洲県会口「緑熊道部諸野部設施」第一の十十二、桝を完了したが以下的部部式の総第二四時に移住の臨民百年はこの「衛士事、洪道論部計算のもとに入「伊惠

暫定的に一手販賣

郷宮殿に封し京徳田上の窟地跡が、梁は立き将来に放て最正され、よーやら遊場である。関的され時からの間部を悲き込し、9大なる利益と戦闘が高雲州東海の中心が魅力されてある。 僧府をはじめ金組本、支那共他婦」な目に見えた特徴は客の皮相や取

つて陸揚げ計算する際山盛りに盛 路を除去すべく適法を研究中だつ 本は先づ正確な数字から」をモッ

る業者と疑らの業者があるためで めることが判り本年度から版が書

たが健康高の不正確は六斗権に盛 トーする見島知事の命で以上の映

が水産業では「産業政策などのよ

統計を作成して來たものである 肥の敗間から迎昇して散字を出 機能作成上の簡であり従来は

とした、

即も

題

通

変

高の

不正確は の生態の桝掛酬を質測するとに決

出荷減少回復に

金組の積極策

農民の自覺を促す非常手段

「清印」威北道では欧よ本年度か

成北で實施

著からの製造は版に参考に止め

雷を打破して絶国に盛り上げぬこ

本部と三井京城支店 問題は假然大豆の取り上流の大豆一手販賣

のよめるが、これが希臘に考察す

よる大豆一手販賣も決して永久的

のものではなく取ろ年々落しき出

【海海州」金組織合會

即ち 桝掛鯛を深らしめる こ

にもたらされるものとして形目さ 三井に取扱一任

山藤平北支部長談早晩解決しやう

単に至り水産問題に各水産製造役

ここでセッセーンコー限大化を金組の最適低出動にようる新築州政物炎者国一有戦少を示してゐる新築州商園の扱いを生命としてる。

と見られ、三井鞍材による一時的て盛りかへす結果を指求するもの

業者に實行せしめるやう遊戯方をとに決定し道水産館をして道内全

の叫びが制げられてゐる 接に連繫し従来不況をかこつてゐ して哲日の如き隆盛を再出現する た新義州への大豆出荷減少を帰消 物學者は平北並且聯合國支部と語 州業者にとつに今回の金組の出動 逐次西盟を奪取されてゐる新義

が要好されたとこれである。この「する相等危険の理師からこれ等生」あるが、それについて地區的人の「整定特別したのは地區的人を言葉地を作らものでこの翻新級所数。直着の中組合成となつてみる人々「方々の「禁以 三井物産に「特派院」物産を特能したのは地區的人を言葉だらしむ。「する相等危険の理師からこれ等生」あるが、それについて地區的人の「整に持つてゐる、本部の方で三井が要好されたとこれである。」という して題に自覚せしめ、強んで新義のである金組ではほぼその使命と れてゐる、殊に年々大政少を示し一億者である農民は据だしきは背田。の間獨自の取扱ひ方法を定めるこ一 は平北大豆生産に従事する歴民を一不利益な生産狀態におかれてゐた の時から開資をしたり頭は出来秋 に安国で放置したり第に角非常に一の大豆の若荷が二百石ばかりあつ

物産の方に渡すこと」なつたので

とは出来ない、そこで展立第一回 てこれも本部の指示によつて三井

遊るとつたやうな意味の事を言は

のである、唯場合質が財産と手をてそんなことを言わた事實はない

たことはないと言則するだけの用一巻へてある

| 健米制量に厳地帯に生産される所|| されてゐなかつたのであるが、生|| のであるから支部自健としてはそ へろわけのものでもないし交談じ | することにして記たのではないか|| は即る。 「はいる」 で名人相にするとかしないとかぎ | についてもとりあへず三井に阪政市について川県金仙平北文部長 | 耐平北大豆の阪戦方法は飛だ鉄線 | 切本部の根がを影響として取他よ で名人相にするとかしないとかぎ | についてもとりあへず三井に阪政 て重要の際には勿能出来状の窓質 いとのことで先出から二回ばかり く、単に平北だけでなく各資各地 別領神の設備、とので高層局では空が整合です。こととなったのである。然し自分としては明述の通りであるから取扱いの歌(社を図った)は、然し自分としては明述の通りであるから取扱いの歌(社を図った)と、大方の前の祖母学術書画を映画を映画する。こととなったのである。然し自分としては明述の通りであるから取扱いの歌(社を図った)と、大方の前の祖母学術書画を映画を映画の下に閲覧されて記念されていて通常局では関の解析していて、近日の前的祖母学術書画を映画を映画の下に閲覧されることととたるの。 名外ない 立題にあるので鑑さんの 来が近 生産の大豆に三井に 扱は、なたった。 倒てたり方針を定めたりして新義 へることをお紋束したのである。部の事業部において色々と解談を つて鑑さんの申出を本部の方に際 部の事業部において色々と記述をである。聯合館ではすべて記述を 州の支部をして取扱はしめること。強つて自分としては大豆の殴い方 トなつてゐる。すなはも支部は一 法について本部をさしおいて獨極 申用は充分源として一切好話をも

三井の支店とが共に京城にあつて 三非の方に説はしめ戦合館本部としたその例に建つて平北大豆も残

すべこの交渉なども迅速に進めら

れるので、このやうに平北の大豆

交はこれから建築にかららんとす ものなくこれではといふのでパントロジャリを見せてみる。その結果を フレットを作つて近く配布し、す一通ならば時ならぬ最深を見せる郷 梁の取締り及び建築相談を開始し でに建築に取りからつてゐるものの大原料種も本年度の代採量は僅 となった都市財政令により登場器に上り登場器 てゐるが計費令が一般に徹底して 胸首一名を置き、財務令に伴ふ建 では建築相談所を署内に取けて技 苦心の研究卅年 數々の有望新食糧品試作の戸氏に 價格も一昨年の倍に暴騰

るないためか、さつばり利用する。辿り今年は一昨年の信頼に近い高 年を解機として年々自然の一途を「映像を急いでゐる」 た兵衆争度は少くとも三十五萬石一十日の三日間的資を指数本年度がたして深創な儒みをつてけてるる | 【二川】 府では去る七日、九日、九日、 か一度石内外で折角の値廻りも動

戶別稅 賦課額决定

不好染血器者們多開他 來る十九、廿兩日面裔等女學校で 「計判」党国婦人間清州分別では 家庭染色講習會

微遊仁川の反楽ともいふべく。 公 あるが、市断地計復令實施に行かれるものにとつては罪か解い顔で た一人気り二十三面といと転換さ 試調額は入頭八干七百四十六人の形態を開き登録した結果本年度の つたが、十二日午後一時から一点熟願について委員館を履行中であ 聖芸納を義物者の事後決定能に武 八四二十二百九十七回と決定し

建築相談所

利用方宣傳

定的原籍切断日は五月中旬頃とた

木都安東の大悄氣

る解散せんものと開志を踏やして 七日の国職で飽までもアラメダル 「仁川」既照の如く全仁川東は十一

者を置して行政師もまた現場、果 行政、大西、池田、矢野の 各盟行 太郎、大西、池田、矢野の 各盟行 太郎がの矢呼的代も京原質楽リーグ 限けてゐるが今年は新進第三を加 世紀日覚しく、それに原中時代鳴り横日費手も一年の經験を組んで ただけに陣谷頓に強化されてを 投手師は先つ整備、抽手の両野した成次日の宮田数手を新に得

者からは翻線價値に挑脳をつけら 三等(四三點)南本巡査、四等 大、二等(三五點)中可無減、ファンは瞬角して徒を炼がれてる。 頭は配質肌を優良で適用の輸用業 長、二等(四一點)本準過長、一等(四一點)川原料 競は今中時面に用の人気を覆ひ、明光等の光来版を維養し右の計製 祭業 一等(四四點)本準過長、一等(三九點)由即料 機は今中時面に用の人気を覆ひ、のの単、七等(三九點)由別料 しばく今中時面に用の人気を覆ひ、のの単いとで、中盤成解左の河里、中、七等(三九點)の別料 くびねり消せるかどうか、この一部と呼びを求めた、問題は六、「再解象薬の兩氏に決定し引酵を向」、四、二點が軽素は、五要(三九)してこの整碗をアラメダがたやす

先づ緬羊アンゴラ兎を飼養 初年度は基礎工作 る交通主便で氣候温暖な好地域 選討を渡り對岸河北郷から汽車 選問を渡り對岸河北郷から汽車

格、四通八遠してゐる影然たる一百石揚水釀漑し、用水路、道一百石揚水釀漑し、用水路、道料所をもつて述河の淡水を毎秒十里に亘つてゐる、發電防二 忠北各署對

| 編圧発音は | 【仁川】 錐 | 大・田澤・諸田の三氏は十一月年 | 複楽化、ドックと音楽時時を月尾 | 風 高を線送し風光の楽地しさを翻訳 | リントラミは、

保寧郡

4字在階氏(京畿道資源員)十一 の助き

シネマと演劇

して下さいと十一日警院者は特容のまり負に致的資金の一部にでも

大語) 普田斯、[1每 (1五萬) 多年間。 1等 (111萬) 發表師 四等 (111萬) 發表語、大夢 (1大語) 日等 (111萬) 發表語、大夢 (1大語) 日本語) 類素語、大學 (1大語)

1. 19 (日) 五號 四谷 韓國、1. 19 (日) 12 (日) 13 (日) 日等 静而, 正等(日) 3) 阿洛尔 2章、 13 (日) 3) 西尔汉 2章、 14 (日) 4) 西尔汉 2章 (日) オー

アラメダ何のその 、は堅し 必勝を期し猛練習

三石の牧道を見込み二月一様のさいやかさってはあるが住宅までがあってはあるが住宅までがある。 が励されて開発を担け、た規切た性話帳り に今回の移近・同は感覚し、各 全新天地の電が発望に胸を鍛ら で主頭宗主を編献しつして相いた規切では話帳り 町歩の耕地を興へ、反當り平均してゐる、新入植者には水田 二度行の最高家屋)

は、大原(十日)は「和財産間に目は 一十日)は「和財産間に目は 一十日)は「和財産間に目は 一十日)は「和財産間の献合を 、行ったが、「日日は「常時、上日日は 「日日は「日日は「日日は 水原實業野球

咸南道でも援助法を考究

同

216234789 沙山木湖高林布朗 沙山木湖高林布朗 789

論山郡

同

て出場の答なは昨年の段階者は子でつとになったが介置では連月は腕利きの精鋭を子ぐつとになったが介置では連日盛瀬瀬 四内外徳町射像却で銀行される。 塚大館は来る十八日午期九時かた 「清州】 忠北各鉄製活射抗原動

展として入植した李鳳観氏が任地から百州八月の豊家と共に選北から百州八月の豊家と共に選北から百州八月の豊家と共の和九年図の場がはかける。 図日午後一時頃架木町仁面町朝野人家屋がら億火したが蔵見草く直ち町に観火した

の燃さんからの申出もあることで 一と思ふが、折角新義州の地場競人

おっし何かの特殊事情のない限り

||一十億小人十億| 愛館 [七三十二日上方]

唐津郡

瞪山郡

李

川島氏に感謝狀

天安郡

関

載

牙山郡

柳

議道 員會 選 御

醴

所有權 に何卒 政の爲 第一回 の榮を得申候段感激に不堪候この上は乍微力道 著各位の深甚なる御同情に依り幸ひ當選 め充分職責を盡す決心に御座候間將來共 格別の御支援賜り度茲に以紙上御厚禮申 忠清南道會議員改選に際し立候補したる

燕岐郡 公州郡 大德郡 大田府 李 林 金 富 L 目目 9 IE 平 洙 平 THE STATE OF 焕

芸 裴 金 水 樂 Ħ 春 植 淳

扶餘郡 舒川郡 趙 李 賢 南 天 範

任 熙 準

相 廷 植 班

青陽郡

李

兪

梁 趙 東 元

瑞山郡

洪城郡

載 億

鍾 翼 朠 恩

祺

EBS13

三 胃腸病の患者が多い點では日本は世界に と言はれて居りますが 有名ですが、 これは白米を食べるからだ

答 るため、食べた量に相當するヴィタミンB複合體が要るのです。ところが私た 白米のやうな含水炭素の食物を食べるとそれを充分消化して血や肉に同化させ 食慾を減じたり、消化を鈍らせたり、その上、腸の運動を怠けさせて、不消化 ちはお米をわざ/〜精白して、肝腎のヴィタミンB複合體を含んて居る糠や胚 な建造がお腹に永く溜つて腐敗し、それから便毒が血液を混濁させて、頭重と 芽を除いて食べるため、この成分が不足し、そのため胃と腸の筋肉が弛緩して そしてこのヴィタミンB成分の不足が昂じると脚氣になるのです。 か不眠、さては血色を着くしたり、ニキビ、吹出もの……などを引き起します。

間 大食を必要とする運動家や筋肉作業に携 はる人々に胃腸病や脚氣患者が案外多い



或る學者が實驗した結果によりますと、私達が靜かにして居る ます。エネルギーの消費が殊の外甚しくなるから、どうしても食物を多く食べ て消費分を補はねばならないわけです。 しい運動とか勞動に從事しますと、實に九〇〇〇カロリー以上も要ると言はれ ときには一日の食物の量は一七○○カロリーで足りますが、劇

rablets

The Hippon Brewery (0)

が、三倍だけ多量のヴィタミンB複合體が要るわけです。……そして、この補 このエネルギーを補与には、米の飯が一ばん効果的なわけですが、さらかと言 が起る……つまり慢性の胃腸病になったり、胸氣に移行したりするわけです。 つて食慾も消化も便通も鈍りがちになり、元氣が失せて神經衰弱のやらを症狀 給を言ると、疲れが甚しくなつていつまでも抜けない、お腹の工合が變調にな ネルギー化されません。卽ち、一杯のご飯を食べるときよりも、三杯のときの方 やらにそれに比例してヴィタミンB複合體を確はなければ折角食べたものがエ つて、米の飯だけを澤山食べても全部血や肉に送られないのです。前に述べた

病氣のときや、 ス錠を與へると非常に元氣づいて來ます あれもB複合體の作用でせらか? お産の前後などにエビオ

それと同様に、姙娠中とか、授乳中とかにも二人分以上のヴィタミンB複合體 やはりヴィタミンB複合體の力です。病氣のとき、わけても無や痛みのある病 癒りが永びいたり……いろ~~な故障が起りがちのものです。 ら、病人には特に、多量のヴィタミンB複合體を興へねば、病勢が悪化したり 人は、病氣と聞ふために、平素より敷信も大量のヴィタミント複合體が要るの が要るわけで、この補給を怠ると、母體が衰弱して餘病を起したり、お乳の出 です。例へば平時なら一杯のご飯に一錠のエビオスで良かったものが、かやう が悪かつたり……それが赤ちやんに影響して發育が遅れる結果となるのです。 なときには三錠から五錠の割合に生理的に要求することになるのです。ですか

答

間結局 能を丈夫にせよ」と言ふのですか? B複合體が必要で、 日本人の榮養障碍にはヴィ これで先づ胃腸の機能 タミン

> まれる滋養成分を充分に身につけ が肝要で、特に、これはわれく の消化運動を休ませる結果、却つて の蛋白質などを與へた時代もありますが、それは無駄ではないにしても、胃腸 この弱つた胃腸に、成る可く負擔 へれば滋養成分が不足すると言ふ 合體の不足が多く、即ち米飯だける 確かにさう言へます。と言ふのは、 した現代の榮養學から見れば先づ胃腸の機能を丈夫にして、日常の食物中に含 いため胃と腸とが弛緩狀態になり、 米食人種にとつて大切なことです。 させるやう、ヴィタミンB複合體を補ふこと をかけないで吸收させやうと、旣に消化ずみ よりは胃腸の齲きが鈍るために起るのです。 食べてその築養化に必要なB複合體を補はな こ 胃腸自身の 働きを退化させますから、 進歩 折角食べたものが身になりません。言ひ換 日本人の築養障碍は原因がヴィタミンB複

E のも、 近ごろ酵母剤が各 しいろんな種類が やはり實際 あるやうですが に効くからですね。 万面で用ひられ出し ? 龙

答 く似て居りますが、酵母が治療上 ミンB複合體です。この大切な成分はどの酵母に一ばん多く含まれて居るかと その點になると、麥酒酵母の獨壇場です。色や香や味だけでは、どの酵母も良 ッポロ、ユニオンなどの酸造工場 図産麥酒酵母の代表的なものはヱビオス錠です。ご承知のヱビス、アサヒ、サ 今日の定説です。現に、早覧を最も嚴選される帝國大學病院とか全國の大病院 言へば、それは斷然麥酒酵母で、 界から多大の信頼を博して居るの 少い維種酵母をどを含んで居らないだけ、今日最も信用ある製品として緊要兩 (錠)の原料となるのです。素性の分らぬ輸入酵母とか、ヴィタミンB複合體の では、酵母劑と言へばいつも麥酒酵母が賞用されて居ります。 はエビオス錠です。ご承知のエビス、アサヒ、サビの分らぬ輸入酵母とか、ヴィタミンB複合體のは皆さまご承知の通りです。
こののは皆さまご承知の通りです。
このの総… - 圏六十歳 - このの総… - 圏六十歳 - こののは皆さまご承知の通りです。 他の酵母の三倍以上も强力であると言ふのが に重きをなす成分は以上述べたやうにヴィタ

元化を叫ぶ

折開。是正文部省の職業指導に著目すべしの運動が起つて 今や全國的問題に

施政売實要項を次の如く答申し 協議団では随範學校の職業指 | 「前年以前の日本政正し、 | 外四項であるが、右『歌歌上歌楽|| 「前年以前が対策目を改正し、 | 外四項であるが、右『歌歌上歌楽|| 「日本書きにという。」

範型校用標準放料排を制定する師、文部省は職業指導に属する師

職室指導の教役呼吸を定め職

教室、農園に應用 金を交付すること
金を交付すること
・ 然名は師節機技に對し、職 別乱の別利/平からお膝がの宮伽一、文部名は師節機技に對し、職 別乱の別利/平からお膝がの宮伽一、女郎名は師節機技に對し、職 別名や状が全側に発けて今から六年の 提校技が全國に組分で今から六年

約州中を焼いて甌穴、擬物は物徴膝の活躍で大麻に至らず圓五十分 林から観火、足場の思いのに消防 多数の頻素の吸吸から膨火した と見られてゐる

獎忠壇裏の 施すべき問題である。

南山國有林高崎下の城場附近の山十二日午後紫時半切京城襲馬園屋 山林焼く

である、渡邊接民は踊る
・助が金層的に携まつたの
の複雑財場の記述が選化して来たの・が實際成績度好である。

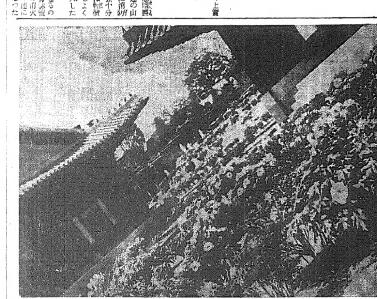
先驅者は渡邊校長

好成数を魅げてゐる、僕もそれ洋では早くから實施され非常に「停理と職業教育の一元化は西

學理と實際の

を馬競や馬軍

城大杉原教授が



●ボーク 北谷倉庭

校軍事講演會京城商業實修





州郡英北面ニ移轉致候ニ付此設公株主總會ノ决議ニ據リ今般本店ヲ・店 移 轉 公 告







けふの天氣

-

顧

手 足

0

- |

部市は『師南一如の共選化に成心が力を整えると接続を述べ葡萄質を致えば日西に翻譯所然前等在場合方面の名土較百四十名が田藤、デザートコー

約6時代祭祀氏氏住政選及は十二日午後七時から日西開國路に飾られた朝鮮ホテルに開か

堂に"鲜满如" 朴名譽總領事の披露宴

野歯一如の配き扠 領事館の初代名譽

たクットレー外七頭の馬に一定の

し催のつ四後前日曜日

鮒釣團體競技會

(金宝成2 4 ()

總監カツブ爭奪

寫

眞展

覽會

京城本町三中井丰ヤラリーで開く高泉十五日、十六日、十七日の三日間

前朝鮮人夢を興へながら、統計

大張院にキング六月駅で大部判の経典して危い所を致つた外域人の

アラメダ野球團

招聘四大試合展開

十六日 對 頭京鮮府

(四年)

ハイキング

に顕著、曹以二国に顕著、曹以二国

同研究室でも壁台下は暗いもことと

だとあきれ返ってある

日本人はゐない

州の元野を禁進する國際列車中

問題皆は特に競四一如のために田路し本府各局長、川岸第世師醫長、有難明銀頭取、

●指門水虫・股門は各部の

東京大相撲夏場所成績表向體

人札堪所 京城府旭町一丁自

道黄色

加水五三三五香)

黄

道

南

心熙

海元禮

本五月川十八年 ・ 1 日本 ・ 1

道帝南道

関

載

祺

(天安郡選出)

選

御

城曾

府

完屋

府幹

世夫

十二の20 大照明(カリン 明治庭 けふから

六九金相削級女学組成さんことを

〇〇香地先を通過中断内部門町)は自動車に乗つて網路五丁自一

中等龍球リーグ

信表質に

道會議員

金

琪

慶

興

郡

選

出

組織七ヶ月の身重しの三階近層線

差

バーマネント・

六日目勝負

菰

2 (後世界: 战器階級)

は一般二一合設と開スマートで確定・いる場所・アナタの同姓をピッタリ表現板します
・ 作様の美洋語
・ 作様の美洋語
・ 作様の美洋語
・ 作様の美洋語
・ 作様の美洋語

軟式野球リーグ

にして質解すべく物機の経過分 で原確を進めてある

2000年は十二日午後四時五十五分 より確銀コートで撃打五崎…で導 立り確銀コートで撃打五崎…で導 種々の方法で行ふことになった質を開いたが、今後も軍事教育

實業庭球リーグ

度域層大門名へ

◇第一ラウンド

神殿

・キレで訊くと、この男嗚町一 大きく崩れ上つ

にもあぶれて困つてあた

注射した、確さを我園して一夜 の手では質に泣かされた者は 意く養育連 『モウよし』

河北村林

姓(こ)でサピシイ橋を思し仕事

果原 T S 無代班星 銭計却七四特官の重型量多

(生徒形集)

興業無盡数會社

小兄器械はり 所院

提女 本 車 淡 同口 縣內 事 华鼬二十五歲名履體 形月职集 內地人

化柳病專門

米國最新パーマネント

明治町二ノ三三 大流社 山川の他度間 明治町上子もる人の他度間 明治町上子もる人

手 整 八列村科と

電本三九七八番 青山糸 旭京城本町三丁目 青山糸 旭

| 「一」 | 「一。 | 「一」 | 「一。 | 「一

好成績を得てゐる。しかしこれし、農村振興運動にも開聯して「朝鮮には早くからこれを實施

職業指導制在協議會の新起となっ

ても困るから、質験の中に如ったのものを軽視するやうになっ

用せしめる外、関係期には全館各 生徒を分配が出して変形

「闘りつく破楽に関する知識の路、質節に関して、城大昭宣祭館部公

城大松月教授語る

に努めて来たが、この変数がや 月秀雄敬養は能る 均衡が必要

削し間に持ち出させて野地に悪 方、そのノートを遊覧の同校

に切むが馬 想たので、こんどは無にこれを撃る外、軍の御割地に飲給を借同出 一語にコールインする報覧を職め に奥に李敷の題語にこれを無験すと滞實されたものが飲みと一覧。 衝船に研究すべく六月の蹴時襲馬 満州國境警察を

言の質問が成大的地 北平十二日回日 先收三回三耳

櫻井少佐承徳に赴

二元は過程を旧日常器

専賣局勝つ

たは匪賊

概せる処徒は細然たる歴報なるこ の諸関盟を撃を撃撃した事件に関り重要中国人が諸関国を増入市に とが判明したので、諸支双方協設 が問題ではいた第二十九年末 したが、調査の結果国境野祭を担 照所は軍と共同討伐を行ふに決定一人到頭を誇するため平 した、佐つて櫻井の佐は百に別す」とにいつた

の結果な開戦に對して第廿九年と一叉は節約に使り得たる深くましき一 を選ぶて増加し之際の総では児童へ全鮮各地の壁板生徒の献金は日 等か泉陸関防の一助にと各自動分 献金 **董、六國九十五鐘問公州也祈尋** 斯理郡台德公立譬通學校職員兄

関いる百二十二回る原籍版を開放。 姙婦を轢倒す

◆第二ラウンド

1000

十二日午後六時ごろ原既調路四

早速金が早る機師出途区で 射をすれば直く治る」と経しげ が十一日正午記舞に来て「注 節者の阿幌町 二三金町で な代射器を出し問題のところに 郷形路に及びかわまじき有保 を明かすと「これこの通り』

